



IMAGINE ROTARY

イマジン ロータリー

ジェニファー・ジョーンズ 2022-2023 RI会長テーマ

中津ロータリークラブ週報

2022-2023年度 中津RC会長テーマ

ENJOY ROTARY ロータリーを楽しもう！

第3317回 2023年2月1日 点鐘:12:30

本日の出席者	会 員 数	47名	欠席者 (11名)	事前：
	出席対象者数	47名		柿内会員、黒田会員、三重野会員、峯中会員、大東会員、大家会員、 重本会員、末永会員、時松会員、土岡会員、山本昌豊会員
	出 席 数	36名		
	出 席 率	76.60%	今週の歌	君が代 奉仕の理想
来 訪 者	北川英二氏(航空自衛隊築城基地司令)			

●会長の時間〔細川会長〕

本日は航空自衛隊築城基地司令・北川英二氏のゲスト卓話です。私は2008年に日本青年会議所で役員をさせて頂いた時、担当が安全保障に関することだったため、沖縄の嘉手納基地でブリーフィングを受けたことがあります。その時、沖縄本島の近くにどれだけ中国艦船が来ているか説明を受け、その多さに驚きました。また那覇基地を訪れ、滑走路が1本だったため、民間機との併用で管制塔は国土交通省が管理しており、スクランブルがあっても民間機が入ってくるとスクランブル発進ができないことを知りました。当時はF4ファントムが配備されていましたが、これはベトナム戦争当時の主力機です。パイロットの方に、こっそり「F4ファントムで戦えますか？」と尋ねたところ、「大丈夫です。必ず日本の空を守ります。」とはっきり言われ感心しました。翌年にはF15が配備されることを知っていましたので「F15が来たらどうですか？」と言ったら、先ほどの方はニコリ笑って「F15が来たら変わりますね。」と嬉しそうに伝えてくれました。そういう思いを自衛隊にさせ、寂しさを感じました。最近は情勢がいろいろ変わっていると思いますが、現状をお聞きし、どのような応援ができるかしつかり考えたいと思います。

●幹事報告〔原岡幹事〕

- ・例会変更 湯布院、別府 4 クラブ
- ・週報回覧 中津中央
- ・その他回覧 ガバナー月信、ロータリー財団室NEWS、月刊もみじ、4/15-16地区大会ご案内、出欠表
- ・例会後に理事会を行います。

●米山功劳者表彰

第9回マルチプル 松永光史会員



● 委员会報告

・会計〔松下会員〕

配布資料により半期決算報告

・誕生祝〔親睦委員会・高津会員〕

1954.2.4仲浩会員、1969.2.20松下幸之助会員、
1967.2.28伊藤敏宏会員

●ニコニコボックス

〔伊藤会員〕 誕生祝、妻誕生日花束のお礼

〔松下会員〕 誕生祝のお礼

〔川鳶眞人会員〕 東郷平八郎の書等展示案内

〔山本洋一郎会員〕 チャリティーバザー協力のお願い

〔植木会員〕結婚記念日花束のお礼

●ゲスト卓話

「近年の安全保障環境における航空自衛隊の方向性について」

航空自衛隊第八航空団司令兼築城基地司令

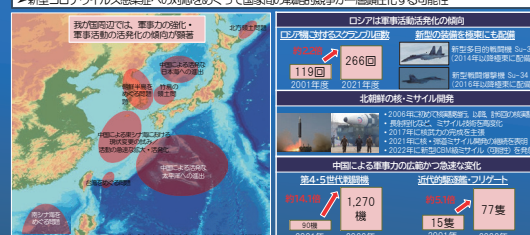
北川英二氏



1 我が国周辺の安全保障環境

【現在の安全保障環境の特徴】

- 既存の秩序をめぐる不確実性が増大し、政治・経済・軍事にわたる国家間の競争が顕在化
- テクノロジーの進化が安全保障に大きく影響
- 一国のみでの対応が困難な安全保障上の課題が顕在化
- 新型コロナウイルス感染症への対応をめぐって国家間の戦略的競争が一層顕在化する可能性



(1) 北朝鮮の動向

- 我が国を射程に収める弾道ミサイルを数百発保有
- 2021年、鉄道用貨車や潜水艦から弾道ミサイルを発射する等、**奇襲・秘匿性の向上**を企図
- 一部ミサイルは、低高度を飛行し、変則的な軌道で飛翔可能であり、ミサイル防衛網の突破を企図
- 2022年1月以降、各型弾道ミサイルの発射を繰り返している。
- 北朝鮮は、2022年3月25日、**新型ICBM(宇宙)7の試験発射に成功** (月24日)と発表



引き続き、北朝鮮の核・ミサイルは、我が国の安全に対する重大かつ差し迫った脅威

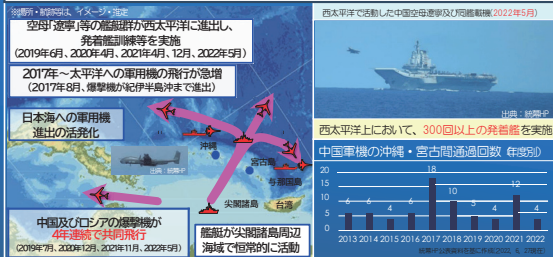
(2) 中国の動向

- 公表している国防費は、中国が実際に軍事目的に支出している額の一部（研究開発や外国からの兵器調達などが含まれていない）にすぎないとみられている。
- 実際の国防支出は、公表値よりも1.1～2倍多いとの分析も（衆国防省議会報告書（2021年））



（２） 中国の動向

- 中国軍は、海空両域での活動の質・量ともに急速に拡大・活発化。一方的な活動のエスカレーションも
- 尖閣諸島周辺のほか、日本海・太平洋における活動の定例化を企図しているとみられる。日本海・太平洋における活動は、今後一層の拡大・活発化が見込まれる。



中国軍の活動の活発化は、我が国を含む地域と国際社会の安全保障上の強い懸念

(2) 中国の動向

- 2021年度緊急発進1004回のうち、722回は対中国機
そのうち、19回を特異事例として公表（中露共同飛行、中国空母からの艦載機の発艦等）



中国航空機の活動機種(UAV等)規模(中国共産)・エリア(台湾海峡)拡大により、対領土任務は、増加傾向

(3) ロシアの動向

- NATO加盟国の拡大やその軍事インフラの接近への対応としてウクライナに対し、軍事協力
(2021年1月～2022年2月、10万人以上の兵力を国境付近に集結)
○ 欧米との外交交渉に際等するが、ウクライナ内の親露派と立派を国家承認 (2月21日)
○ 親露独立派の防衛を名目として ウクライナ軍事侵襲 (2月24日)



➤ウクライナ軍の抵抗により戦闘は長期化(2023年2月24日で1年)

(3) ロシアの動向（極東）

- 核戦力を含む各種装備の近代化を推進
- 北方領土及び千島列島における軍備も強化するなど、軍事活動を活発化させる傾向
- 中国軍と共同した軍事活動（爆撃機共同飛行及び艦艇群共同巡航）を確認する等協力関係を進展



➤引き続き、ロシア軍の活動活性化により、対中国同様**対領空侵犯措置任務は、増加傾向**

2 安全保障関連3文書

2022.12.16 安全保障3文書閣議決定

• 國家安全保障戰略

理念(自由、民主主義、基本的人權、法の支配…)、国益、目標

・ 国家防衛戦略

基本方針

- (1) 我が国自身の防衛体制の強化
- (2) 日米同盟による共同抑止・対処
- (3) 同志国等との連携

・防衛力整備計画

3 航空自衛隊の対応

- (1) 我が国自身の防衛体制の強化（領域横断作戦の実現）



第13回理事会議題

- ・ 前回議事録の承認
- ・ 1 月会計報告
- ・ 3 月例会プログラム
- ・ 二水会について
- ・ 2 月15 日インターアクト卒業式例会

●例会のご案内

2月22日(水) 祝日週休会
3月1日(水) ゲスト卓話
「住民主体の地域づくりについて」
社会福祉協議会 吉田瑞穂氏



中津ロータリークラブ週報

国際ロータリー
第2720地区

例 会/毎週水曜日 12:30~13:30 ヴィラルーチェ中津 TEL 0979-23-1122

●2022-2023年度

会長／細川 唯 幹事／原岡知徳 IT支援・RI情報・公共イメージ委員長／永岡侍紹 中央